

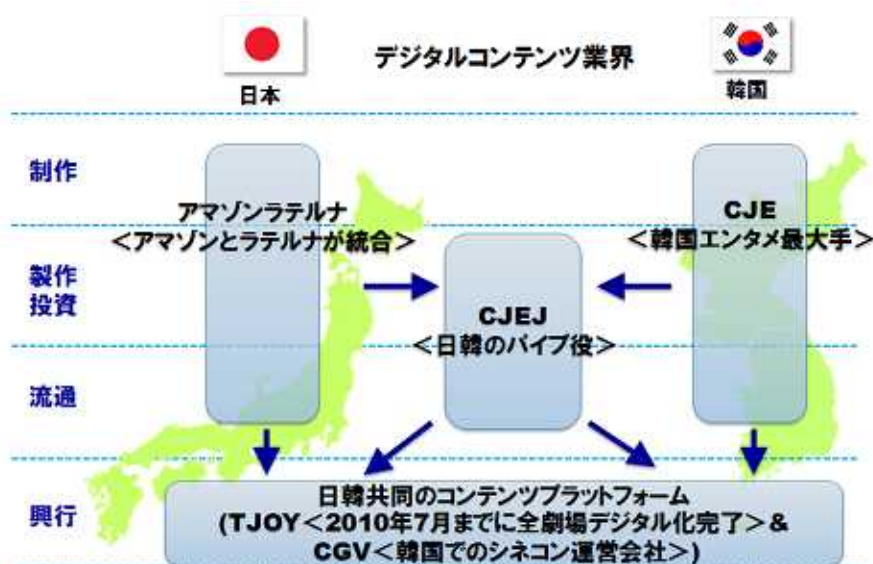
ティ・ジョイと CJ Entertainment、デジタルコンテンツの製作から興行までの 新たな垂直統合ビジネスモデル確立を目指し、初の本格的業務連携

株式会社ティ・ジョイ(所在地:東京都中央区、代表取締役:岡田裕介、以下「ティ・ジョイ」)と韓国エンタテインメント最大手 CJ Entertainment 株式会社(所在地:ソウル市、代表取締役:金晶雅(Katharine Kim)、以下「CJ Entertainment」)は本日、デジタル化時代のコンテンツ製作から興行までの新たな垂直統合ビジネスモデルを目指し、アジアエンタテインメント企業間で初めて本格的に業務提携することを発表します。これに先立ち、ティ・ジョイは、4月1日付でグループ会社であるテレビ番組制作会社アマゾンと映像製作会社ラテルナを総合映像製作会社・株式会社アマゾンラテルナ(以下、「アマゾンラテルナ」)に経営統合しました。さらに、アマゾンラテルナとCJEは、4月6日付で、映画の製作・投資・配給を主たる事業とする合併会社 CJ Entertainment Japan 株式会社(以下、「CJEJ」)を設立しました。

デジタル化の普及に伴い、コンテンツのマルチユース化と国境を超えた市場エリアの広がり急速に拡大しています。この大きなビジネスチャンス業界全体の成長に結び付けるため、現在の民主党政権もコンテンツビジネスのアジア展開を積極的に推進しています。一方で、急速な外部環境の変化は、既存のコンテンツビジネスモデルの崩壊を促し、業界全体がバリューチェーンの再構築という大きな岐路に立たされ、次の成長を模索し続けています。

この度、ティ・ジョイグループと CJ Entertainment は、この大きなビジネスチャンス次の成長につなげるため、日韓を一つの市場として捉えたコンテンツビジネスの新たな垂直統合ビジネスモデルを提唱します。(以下、参照。)これにより、今年7月に全劇場のデジタル化を完了するティ・ジョイと、CJ Entertainment での、コンテンツの日韓での同時配給も可能となります。また、コンテンツ制作においても、この国境を越えたコンテンツプラットフォーム(出口)の集客を前提としたリスクを取った製作投資が可能となります。この新たな垂直統合型ビジネスモデルの第一歩として、アマゾンラテルナ、CJEJ が誕生しました。

更に、ティ・ジョイグループと CJ Entertainment は、この日韓での共同プラットフォームを安定的な流通基盤とし、映画に加え、テレビや ODS(Other Digital Stuff:映画以外のデジタルコンテンツ)といった良質で多様なコンテンツを供給します。



今回の本格的な業務提携により、日韓の消費者は、従来目に触れることの無かった多様な ODS(例:ミュージカル、演劇、格闘技、コンサートなど)や、これまで流通しなかったローカルな映画・テレビ番組などのデジタルコンテンツをより身近に楽しむことができます。また、事業会社は、出口戦略を前提としたデジタルコンテンツの製作に、よりリスクを少なく参画することが可能となると同時に、シネマコンプレックスに集まる特定の消費者層に対し、クロスセル、アップセルなどのマーケティングを仕掛けることも可能となります。

新会社概要

会社名	株式会社 AMAZONLATERNA	CJ Entertainment Japan 株式会社
所在地	<u>銀座オフィス</u> 東京都中央区銀座四丁目 10 番 5 号 三幸ビル本館 5 階 <u>千駄ヶ谷オフィス</u> 東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目 50 番 11 号 明星ビル 4 階	東京都港区西新橋二丁目 7 番 4 号 CJビル 11 階
資本金	3 億円	3 億円
代表取締役社長	倉内 均(くらうち ひとし)	裴 亨燦(Hyung-Chan Bae)
事業内容	映像制作、製作・投資、配給他	映画の製作・投資、配給、国際共同製作事業他

【本件についてのお問い合わせ先】

株式会社ティ・ジョイ 担当: 田代 (TEL:03-3248-8174 / FAX:03-3248-8176)

CJ Entertainment Japan 株式会社 担当: 湯川 (TEL:03-5251-7377 / FAX:03-5251-7378)